

令和7年度 卒業生の就職先へのアンケート調査

【卒業生の就職先へのアンケート】

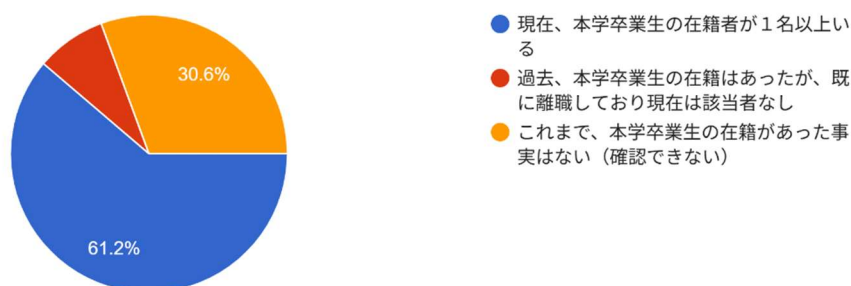
1. 実施期間：令和7年8月18日（月）～8月29日（金）
2. 調査対象：本学に来訪があった（過去2年間）企業の中で卒業生が就職した企業
3. 調査方法：Google フォームによる Web 回答
4. 回 答 数：49/103
5. 調査結果：

（1）本学卒業生の在籍について

回答 49 件のうち、現在においても卒業生が 1 名以上在籍していると回答したのが 30 件であり、すでに離職していると回答があったのは 4 件であった。残りの 15 件はこれまで採用の事実がない（確認できない）とし、今回のアンケートの趣旨に反するため以降のアンケートには回答いただいていない。

①在籍確認

49 件の回答



（2）「TOEIC」「日商簿記検定」以外で、在学中に取り組んでおくの良い資格

抽象的な回答を含め、18 社が希望をあげてくださったが、そのうち 8 件が IT・PC に関する資格であった。その他の資格についても以下の通り。

【在学中に取り組んでおくの良い資格】

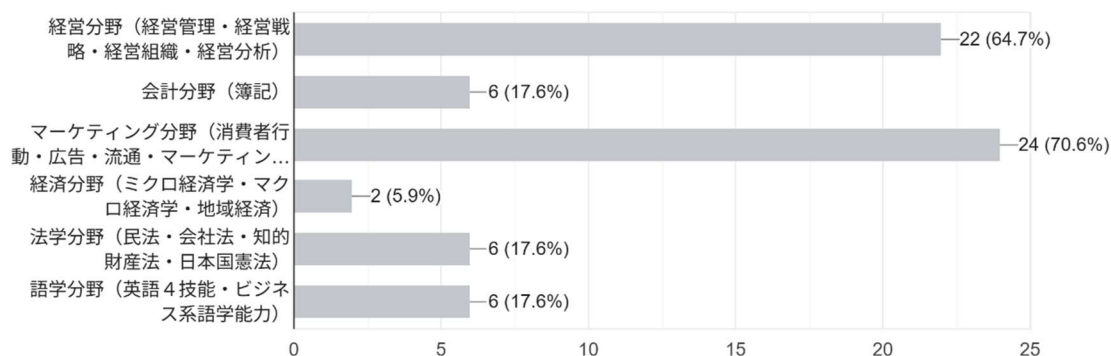
- ・ IT、PC 系（日商 PC 検定、基本情報記述者資格、IT パスポート、Excel 関連など 8 件）
- ・ 普通自動車免許（2 件）
- ・ ビジネス実務マナー検定
- ・ 税務、社会保険関連
- ・ 宅建（2 件）
- ・ 毒劇物
- ・ 危険物（乙 4）
- ・ FP（2 件）
- ・ DX 関連
- ・ 教員免許

(3) 社員の学びなおしとして受講するとすれば、興味のある分野はどれか

選択肢のうち2つまで選択可能な中、マーケティング分野が24名、経営分野が22名と半数以上を占める回答があった。昨年度も同様な結果となり、社会人として勤める方の多くがこれらの分野の学修の必要性を感じていると改めて確認できる結果となった。

選択肢より、社員の学びなおしとして受講するとす...身の興味のある分野を2つまでお選びください。

34件の回答

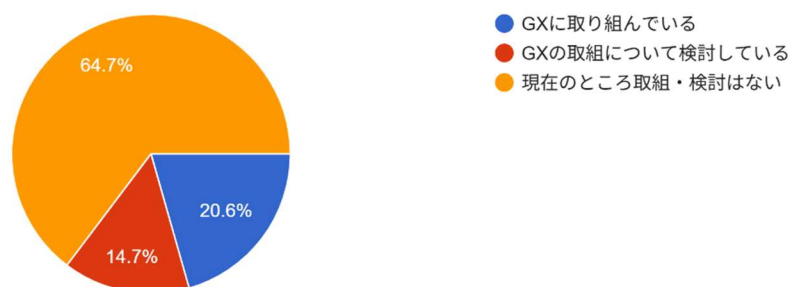


(4) 会社として GX に関する事業・取り組みを行っているか

2025 年度入学生より、環境ビジネス副専攻が新たに導入され、GX に関する新科目が設置された。現状において企業の取り組み状況について確認を行ったが、すでに GX に取り組んでいると回答があったのは 20%（7/35 件）であった。

貴社として、GXに関する事業・取り組みは行っておりますか？

34 件の回答

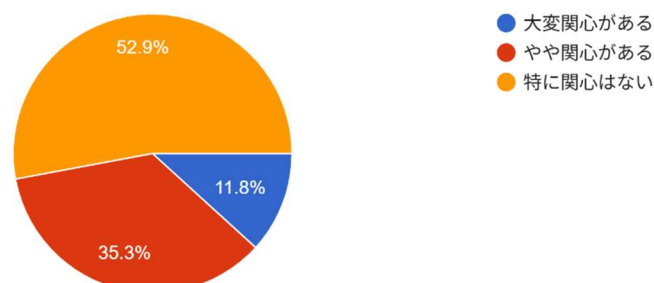


(5) GX を学修した人材の採用について関心があるか

続いて、GX を学修した人材の採用についての関心を伺ったが、関心があるとの回答は 47.1%であり、関心がないとの回答の 52.9%とおおよそ半数ずつであった。今後、さらに需要が高まることと期待をし、今後も調査を継続する。

GXを学修した人材の採用について、関心があるか回答ください。

34 件の回答



また、関心があると回答した企業には特に期待する知識や技能・態度を伺った。回答があったのは以下の通り。

会社側の知識不足がある。その視点や学んだことを活かし、活動の提案や取り組める分野を任せたい。

・各自治体の脱炭素への取組（ロードマップ）・再エネ推進交付金等の補助金情報・住宅・非住宅含めた市場環境認識・エネルギートレンド

スマート農業（ドローン）・バイオマス活用（糞尿処理）・有機農業（化学肥料削減）、再生可能エネルギー（風力発電農地設置）

GXに関する知識に加え、その知識を会社に落とし込み自ら事業を発展させようとする能力。

気候変動や環境法規制に関する理解、組織内外との連携を促進するスキル・プレゼンテーション能力

一緒に展開していきたい

ペーパーレスでの経理処理に必要な IT の基礎知識

得意先への提案課題解決に繋げる知識があれば大きな武器になる事期待されます。

取引先企業が力を入れているので、協力企業としても力を入れたい。

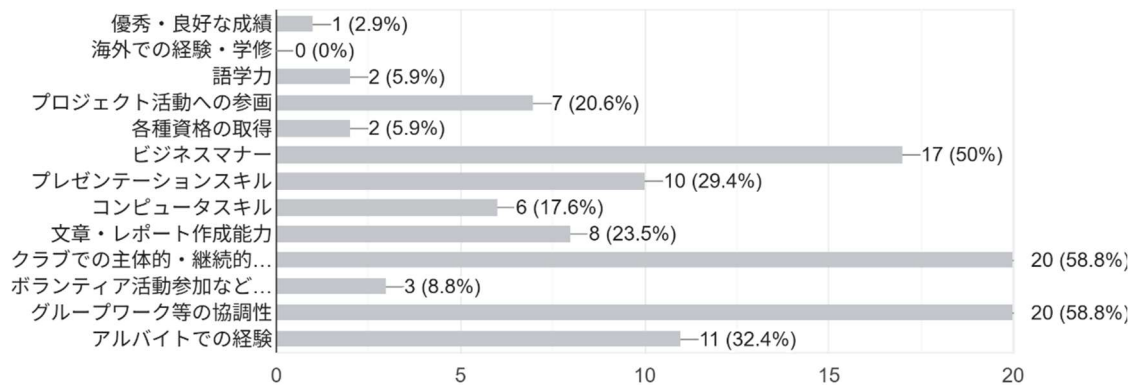
カーボン会計

(6) 大学での学びについて、学生に期待するもの

一番回答が多かったのは「クラブでの主体的・継続的な活動」及び「グループワーク等の協調性」であり、組織の中で協調性を持ちながら主体的に取り組める人材が求められていると伺える。次いで多かったのは「ビジネスマナー」であり、この3項目は昨年度の調査においても上位3つを占めていた。

大学での学びについて、学生に期待するものを選択肢のうちから3つまで回答ください。

34件の回答



(7) 本学の教育に期待すること・改善を望むこと

自由記述により以下の通り回答を得た。

- 函館周辺郊外地域の経済活動について（商業が盛んなまちだけでなく、買い物困難地域についても学ぶことでさらに多角的な視野を身につけることができるのでは）
- 函館を大切に、函館の発展に貢献する意欲のある学生が多く輩出されることを期待する。
- 1. 大企業だけに目を向けるのではなく、中小企業が日本社会全体の仕事を担っているという事を教えてほしい。 2. 政府が推進している転職を繰り返しながら年収を上げるというのは、優秀な一部の人だけしか成功せず、実態はとても厳しい状況でむやみに転職というのは危険という事を教えてほしい。 3. 就職後、どんな業界・職種でも知識・技術等を習得し一人前になるには5年～10年はかかります。ある一定程度の我慢強さが社会人になると必要になります。 4. 学業の勉強中心というより、人間性豊かな学生さんを育ててほしい。社会にでると学校の勉強はあまり重要ではなくなる事が多いため。 5. 最近は、言われた事しかないという新入社員が各会社で急増しております。 自分で考えて動くという事が出来るように教育をしてほしい。
- インターンシップ等を通じた実務経験の機会提供
- 課題解決型の教育プログラムの充実、チームの中心となって周囲を巻き込んでいける人材の育成
- 北海道内での就職を希望する生徒が増えることを希望します
- 「函館」冠する大学であるため、「函館」を活気づける、人財が根付くような教育指導（地域企業との連携）を期待します
- 事務部門はもちろん、他のどの部門においても事務処理は必ずあり、その事務処理はほぼパソコンを使って行われるため、パソコンの基本操作とエクセルの操作は身に着けさせて貰いたい。
- ESの添削（写真の撮影方法や文章）IS参加の際の服装等のマナーを参加前に学べる時間があれば、今後他社様のISや選考を受ける際に役立つと思われます。
- 2025年度の新入社員をお迎えいたしました。未経験のコンピューター技術の研修について、非常に実直に、かつ前向きに取り組む技術力を上げました。講師からもお褒めをいただく取り組みと成果を見せてくれました。未経験ながら、貴学のご指導にて、考える基礎能力を身に付けていたことが大きいと考えております。周囲とのコミュニケーション能力も十分あり、楽しい人材です。
- 山積する道南経済に活路を見出せるような教育があればより良いかと思います。
- 協調性のある学生にぜひお会いできたらと存じます。
- 素晴らしい卒業生が弊社で活躍しています。これからも期待しています
- 特になし。現行でいいと思う。